

313) ラーメン

小生が勤務する会社の社員食堂は、一番おいしいものはラーメンで、あとのものは値段に比して格段にまずいのであります。そこで社員食堂で食事するときは、必ずラーメンと決めていたのですが、いつもは胡椒など入れることもなかったのに、どういうわけかこの日に限って、スープの塩加減が少し甘かったので、胡椒を入れてみようと思ったのであります。で、キャップを外して勢い良くふりかけると、何と、ナナント、ナント、このキャップは今までのヤツとは違って、キャップそのものに小さな穴が開いているヤツで、キャップをはずした状態で、勢い良く降りかけたものだから、中の胡椒はほとんどすべて、我が 450 円のラーメンの中に溶け込んでいってしまったのであります。アアあわれ、ラーメンをかき回すと、胡椒の塊がどす黒くスープを染めて行くではありませんか。ラーメンも見るからに辛そうであります。それでも大枚 450 円も叩いたラーメンです。エーイまあせっかくのラーメンだから、鼻をつまんでクシャミなど出ないようにして食ってしまおう。スープでよくメンを洗って胡椒をよく落とし、食い始めてみると、ちょっと辛いところもあるにはあったのですが、まあ全く食えないと言うほどのものでもなく、スープも上澄みだけ静かに啜っている分には、結構イケルではありませんか。もったいない！スープも飲んでしまおう。しかしだんだん器の下のほうが見えるようになって、もう飲むのをやめました。底には厚さ約 2cm にわたって、黒胡椒が堆積していたのであります。